第252号 2025年3月19日

協造之心人

DHA • EPA協議会 〒151-0062

東京都渋谷区元代々木町 32-7 一般財団法人日本水産油脂協会内 TEL&FAX: 03-3469-6931 URL: https://www.dhaepa.org/ E-mail: dha_epa@par.odn.ne.jp

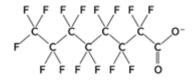
「PFAS について」

備前化成株式会社 三澤 嘉久

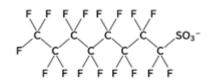
最近、発がん性が指摘されている有機フッ素化合物(PFAS)について、注目が集まっています。2025 年 1 月には、浄水場から高濃度の PFAS が検出された岡山県吉備中央町で、住民らを対象に公費で実施した血液検査の結果を公表したとの報道がなされて、日本でも人に対する影響等の調査が進んでいます。

PFAS とは炭素とフッ素が結合した分子構造を持つ化合物で、撥水・撥油性、熱・化学的安定性を示し、PFAS の中でも特に PFOA(ペルフルオロオクタン酸)、PFOS(ペルフルオロオクタンスルホン酸)が工業的に使用されていましたが、自然界での難分解性、環境中での高蓄積性、風や水などで移動する長距離移動性により、現在は、日本並びに世界的に各種規制がかけられています。撥水・撥油性、熱・化学的に安定であることより工業的に使用されていたのですが、それらの特徴が、逆に規制の対象となっているとは皮肉なものです。

PFAS は、水、食品中にも含有していることが知られてきており、人への影響が懸念されますが、まだ明確な結論に至っておらず、日本でも各種調査・評価が行われている段階です。食品については、農林水産省で、食品の安全性に関するリスク管理に不可欠なデータを得るために、農畜産物中の PFOS、PFOA 含有実態調査が行われています。



PFOA(ペルフルオロオクタン酸)



PFOS(ペルフルオロオクタンスルホン酸)

令和 3~4 年度には、水産物中の PFAS 実態調査が行われ、日本周辺水域で生産・水揚げされた水産物(マアジ、ブリ、カレイ、ウナギ、マダイ、カキ)を購入し、PFOS、PFOA の分析・定量の以下結果について、内閣府食品安全委員会において、食品健康影響評価を行っているところです。

また、令和6年度には、農畜水産物のPFASの含有実態調査として、PFOS、PFOAを含めたPFAS4種類について、国産農畜水産物を対象に調査を実施しています。農産物として、ばれいしょ、キャベツ、トマト、コメが、畜産物として牛肉、豚肉、鶏肉、牛乳、鶏卵が、水産物としてマイワシ、カツオ、マダラ、アサリ、アユが対象品目となっています。結果の報告が待たれるところです。

食品中の PFAS に関する情報は、農林水産省の以下サイトに掲載されていますので、興味を持たれた方は、参照下さい。 https://www.maff.go.jp/j/syouan/seisaku/PFAS/index.html

≪幹事会のうごき≫ 令和 7 年 2 月 14 日(金)に本年度第 10 回幹事会を(一財)日本水産油脂協会 1 階会議室において Zoom を併用して開催した。

- ・次年度の公開講演会の開催場所や日程について事務局より報告があり了承された。
- ・次年度事業計画として、公開講演会について検討した。

≪2025 年 1 月の魚油の輸入≫

出典:財務省貿易統計

2025 年 1 月			2024年1月~12月		
輸入量(トン)	金額(千円)	単価(千円/トン)	輸入量(トン)	金額(千円)	単価(千円/トン)
1,837	701,659	381.9	16,534	6,615,096	400.1

≪魚油の国際価格≫ (単位:US\$/トン)

2025年1月

2024年12月 3.050 出典: OIL WORLD 2024 年 1 月 5.088

Fish oil, any orig, cif N.W. Eur

3,040

<情報>チリ・ペルーの漁獲量 (単位:トン)

出典:iffo

	2025 年第 8 週	2025 年第 7 週	2025 年第8週までの累計	2024 年第8週までの累計
チリ	78,604	77,883	405,365	303,889
ペルー	18,430	13,379	599,465	119,963